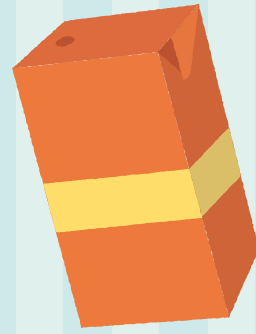


2021

紙パックリサイクル 年次報告書

Paper Carton Recycling
Annual Report



捨てるよりリサイクルが
気持ちいい。



全国牛乳容器環境協議会

発行にあたって

日ごろは、全国牛乳容器環境協議会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。紙面から恐縮ではありますが、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、我が国を含めた世界全体における新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済、社会、生活などに多くの影響を与えた年でした。感染拡大防止の観点からソーシャルディスタンスが意識され、リモートワークや巣ごもり消費など新しい生活様式が生まれました。私たち容環協の事業においても新型コロナ感染症の影響を受け、例年行ってきたエコプロ、エコライフ・フェアなどの環境イベントや出前授業、リサイクル講習会などといった対面での啓発活動が軒並み中止とせざるを得ない状況となりました。これまで取組の中心においてきたこうした活動が実施できなかったことは非常に残念でしたが、これらの代替手段としてビデオの作成やオンラインメディアの活用を模索しました。こうした活動はまだ緒に就いたばかりですが、新しいメディアが広がっていく中、正しい情報を速く伝える方法として活用方法を今後も研究していきたいと思っています。一方で、昨年は対面を必要としない取組である「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は従来通り実施できました。夏休み期間の短縮等もあり例年よりは少ない応募数にとどまりましたが、このような状況下においてもたくさんのご応募をいただいたことに感謝申し上げたいと思います。

容器包装に関してはプラスチックによる海洋汚染をきっかけにして、プラスチック資源の循環が大きな社会問題として関心を集めることとなっています。プラスチックは世界的な社会問題となっており、レジ袋有料義務化など日本でもその対策が進められているところです。紙パックは主に再生可能な資源である木を原料とする紙でできていますが、表面は内容物である牛乳などを衛生的に保存・輸送するためにポリエチレンというプラスチックでコーティングされています。これら紙パックに使われているプラスチックについても、その有効活用の可能性を検討すべく最適なプラスチックリサイクルの取組に必要な情報の収集を開始したところです。



全国牛乳容器環境協議会
会長
原田 裕司

紙パックリサイクルの指標である紙パック回収率は、ここ数年は伸び悩み傾向となっていますが、2019年度は前年度比微減となりました。2020年は2016年から2020年までの中期計画「プラン2020」の最終年になります。「プラン2020」においては「一人ひとりが環境を考え、行動していく社会」の実現を目指して、紙パックリサイクルの普及・拡大に向け各委員会の運営充実と専門委員の活動の活性化に注力してまいりました。2020年の結果は未集計ですが、周辺環境の変化とこれまでの5年間の活動の反省を踏まえ、2021年～2025年までの中期計画「プラン2025」を作成しています。

以上でご紹介した以外の内容も含め、1年間の活動内容を総括してここに「2021紙パックリサイクル年次報告書」をまとめました。ぜひお目通しいただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。多くの皆様のご意見が紙パック回収率向上につながるものと考えております。

紙パックの資源循環は、紙パック飲料をご利用いただいている皆様をはじめ回収や再生、流通にかかわる様々な皆様のご協力があって実現するものです。今後とも紙パック回収へのご協力をお願い申し上げます。会員の皆様におかれましても、今までも増して更なるお力添えをよろしくお願ひします。

2021年1月

回収率向上アクションプラン

全国牛乳容器環境協議会(以下、容環協)では、「2020年度に回収率50%以上」を目標として掲げ、紙パックの回収率向上を目指しております。

具体的な取組は以下のとおりです。

《目標》
紙パック回収率 **50%以上**
2020年度

- 自然の恵みを大切に、次世代の子どもたちが安心して暮らせる地球環境を継続的に維持していくため、紙パックリサイクルに係るすべての関係者との連携を強化し、回収率向上のための自主的活動を促進します。
- 再生可能な資源である紙パックを良質な資源として有効に活用することにより、資源の節約と環境負荷の削減を図ります。紙パックのリサイクルを通して資源の大切さを伝える活動を展開します。

【主な取組】

- 1.回収力を高める場づくり
 - ①ステークホルダー会議などの充実
 - ②地域特性に応じた地域会議の開催とフォロー
 - ③地域の環境活動(紙パックリサイクル講習会の開催(全国牛乳パックの再利用を考える連絡会(以下、全国パック連)と連携))などへの参加と情報共有

- 2.様々な生活の場における回収促進
 - ①生活の場に根ざした回収力向上(紙パック回収ボックスの提供、環境メッセージ広告を紙パック商品に掲載する環境キャンペーンの実施、工場見学者に対する紙パックリサイクル啓発の実施)
 - ②牛乳1000ml以外(500ml、200mlなど)の回収促進
 - ③紙パックとしての分別の促進
 - ④再活用から資源価値の高い再生紙へ
 - ⑤屋外や店舗で飲まれる紙パックの回収促進
- 3.教育や学習の場における活動の促進
 - ①教育・学習とリサイクルの協調(小学校での牛乳パックリサイクル出前授業の開催(全国パック連と連携)・牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクールへの協賛)
 - ②学校給食用牛乳パック(以下、学乳パック)の回収率向上
- 4.コミュニケーションの充実
 - ①ステークホルダーとの対話と協調
 - ②再生品の利用促進
 - ③様々なイベントへの参画
 - ④インターネットなどによるコミュニケーション(容環協HP・牛乳パックン探検隊HP)
 - ⑤国際的連携の推進



CONTENTS

活動トピックス

- 「プラン2020」.....2
- 「プラン2025」の策定.....3
- リサイクル促進意見交換会.....4
- 牛乳パックリサイクル出前授業.....5
- 牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール.....7
- その他の活動.....8

活動報告ダイジェスト

- 2019年度 紙パック回収率.....10
- 2019年度 紙パックマテリアルフロー.....12

2020年度活動報告

- 小売事業者のリサイクル状況.....14
- 福祉施設のリサイクル状況.....15
- 市町村回収・集団回収の状況.....16
- 学校のリサイクル状況.....18
- 製紙メーカーのリサイクル状況.....19

紙パックのリサイクル学

- 紙パックを取り巻くダブル循環.....20

全国牛乳容器環境協議会の概要

- あゆみ.....22
- 容環協の発行物.....24
- 会員一覧.....25

「プラン2020」 5年目取組状況

「プラン2025」の策定



「プラン2020」 飲料用紙パックリサイクル 行動計画

アクションプランに基づいて、4つの委員会で活動を推進しております。2020年の主な活動は以下のとおりです。

1.総務委員会

(1)回収力を高める場づくり

2月に東京都で「飲料用紙パックリサイクル促進意見交換会」を開催しました。2019年は台風15号の被害状況を考慮して開催を中止した千葉県での「地域会議」を2021年1月末の開催に向けて準備を進めています。

(2)様々な生活の場における回収促進

東京都民間保育園協会の広報誌に紙パックリサイクル促進の案内を新たに掲載することができました。東京都民間保育園協会には約1200の保育園が所属しており、新たな回収促進の可能性が期待できます。外食産業の回収力向上に向けた実態調査も継続して取り組んでいます。

(3)教育や学習の場における活動の促進

学校を核とした回収力強化の一環として、引き続きリサイクル意識の高い自治体の小学校へ出前授業を行いました。

(4)コミュニケーションの充実

各専門委員会と連携しステークホルダーとの対話と協調に努めました。

2.広報委員会

(1)インターネットメディアの活用

2021年4月運用開始に向けてパソコンからだけでなく、スマートフォンからもホームページを閲覧しやすくするためにプログラムの変更及びデザイン・レイアウトの刷新を行いました。

(2)新規広告媒体の活用

昨年開始した三鷹市のごみ袋外装への紙パックリサイクル啓発の広告掲載を継続し、同市のホームページにバナー広告を掲出しました。

(3)「紙パックリサイクル啓発動画」の制作

全国パック連と協力して2本の動画を制作し、紙パックの開き方などのいろいろな情報をわかりやすく紹介しました。

3.イベント委員会

(1)紙パックリサイクル促進による環境教育と普及啓発
今年度においては、新型コロナウイルス感染防止を最優先に考慮し、従来実施していた出前授業、自治体・店舗でのリサイクル講習会、地域環境フェアへの出展など多くを見送ることとなりました。新たな啓発活動の在り方を検討しつつ、活動する年となりました。

①新たな試みとして、川崎市の市民団体、川崎市環境局と連携し、川崎市の小学校に対し、感染防止策を充分配慮しつつ、セミナー形式のみの出前授業を開催しました。

②「エコプロ(エコスタディールーム)Online2020」に3R推進団体連絡会の一員として参加しました。例年出展していた実展示が中止となったものの、WEB上にて牛乳パックリサイクル促進活動を紹介しました。また、ライブセミナーに参加し、新たに制作した動画などによる啓発発信をしました。

(2)牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール

表彰式は見送ったものの、ほぼ例年どおりに実施することができました。外出自粛、一斉休校や夏休み期間の短縮など作品制作に影響があったと思われるものの、1,670点もの応募をいただき、感謝と共に、このコンクールが子どもたちに根付いていると感じました。

4.支部組織委員会

(1)地域の環境活動などへの積極的支援及び参加

容環協会の本社および地域事業所が、容環協の各種パネルや冊子などを活用して独自に紙パックリサイクル啓発活動を実施し、こどもの国牧場 牧場まつりや京都丹波スマート環境学習等の地域の環境活動に参加しました。多くのイベントが中止になる中、例年の1/3の地域イベントは開催できました。

「プラン2025」飲料用 紙パックリサイクル 行動計画策定の検討

容環協では、2020年度を目標年度とした「プラン2020」に従い活動を行ってきました。最終年度を迎えるにあたり2025年を目標年度とした次期中期行動計画「プラン2025」の検討を進めています。

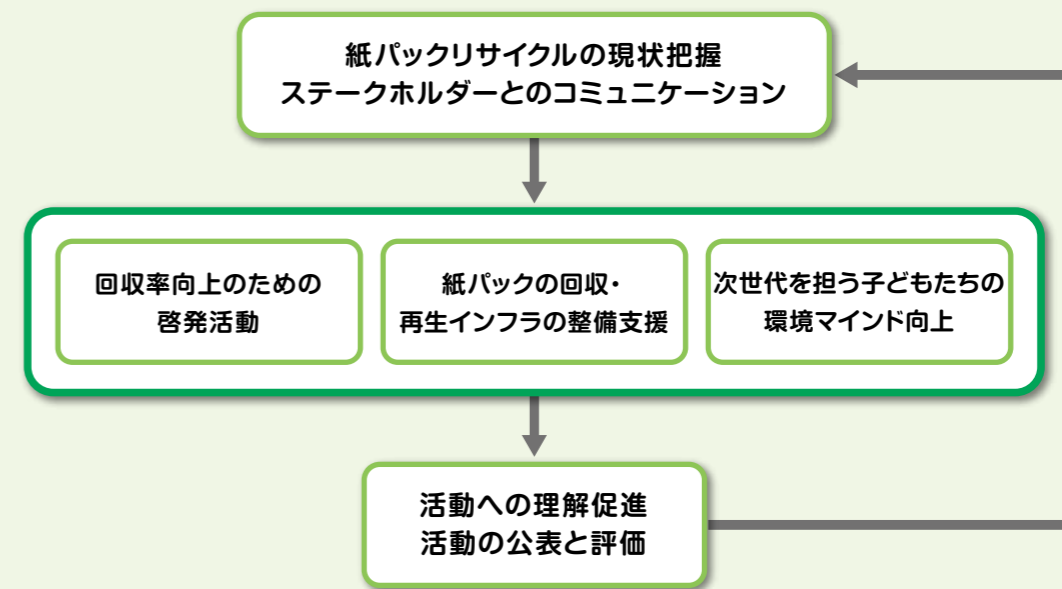
「プラン2020」では、①ステークホルダーとの意見交換会、②地域の回収率向上を目的とした地域会議、③保育園や外食産業などへの働きかけ、④地域の環境活動への参加、⑤回収ボックスの提供、⑥バスへのラッピング広告や有料ごみ袋への啓発広告、⑦雑がみの組成

調査、⑧小学生への出前授業など様々な活動を進めてきました。

しかしながら、この間、紙パックの回収率は残念ながら低下傾向となっています。容環協では回収率向上に向けて活動内容の全面的な見直しが必要と考え、「プラン2025」ワーキンググループを設置し議論を重ねています。こうした中でいくつかの課題が見えてきました。それぞれの課題をより明確にして向き合い、より実効的で社会の共感を得られる活動にしていきたいと考えています。

プラン2025の概要(案)

回収率目標 50%



リサイクル促進意見交換会

牛乳パックリサイクル出前授業



関係団体が多数集い、
リサイクルの現状と課題を
話し合う貴重な場に。

【第32回飲料用紙パックリサイクル促進意見交換会】

2020年2月13日に乳業会館にて、経済産業省素材産業課・資源循環経済課、農林水産省牛乳乳製品課、自治体関係者、市民団体、古紙回収業者、製紙メーカーなど計58名出席のもと、開催しました。

最初に容環協の城端会長(当時)から、紙パックリサイクルは中国の廃プラ輸入制限などの環境の変化により、回収率50%の目標に対して非常に厳しい状況となっており、今日来場のいろいろなステークホルダーの皆様と活発な意見交換を行って問題解決を図っていききたいとの挨拶がありました。経産省から、国内外で古紙の需給変動が激しい状況となっており、解決策について日々知恵を絞っているところとの挨拶を、農水省から、学校給食用牛乳支援事業の立場から学乳パックのリサイクル問題についてこのような意見交換の中で知恵を借りて解決策に繋げたいとの挨拶がありました。

次に取組状況報告として事務局から、容環協の活動報告と2018年度の回収率の概要説明を行いました。紙パック全体の回収率は42.5%と目標数値に対して7.5ポイント低い数字になったこと。まな板や工作に再活用され、捨てられている量はかなり多く、回収率で2ポイント以上と推測されることなどの報告を行いました。続いて4つの専門委員会の活動状況を各委員長から報告しました。



来賓挨拶

調査会社からは、2018年度の回収率調査結果の詳細内容と飲料種類別やキャップの有無が消費者のリサイクル行動に与える影響についてのインターネットアンケート調査の概要説明を行いました。

前半の最後に容環協から、フィンランドの製紙メーカーとベルギー、イギリスのリサイクル状況の視察報告を行いました。

後半の意見交換では7つの区市から紙パックリサイクル状況・課題について報告がありました。全国パック連の平井代表からは、自治体に対して市民への啓発において容環協が保有するDVDや啓発冊子類をぜひ活用していただきたいことや海外で普及が進んでいるキャップ付き紙パックやCTMP(ケミサーモメカニカルパルプ)は日本のリサイクルシステムにはマイナスの影響を与えたとの補足説明がありました。また、中国の環境規制強化を背景に古紙回収業者から輸出が困難になり在庫が増え、市況が下がったために非常に厳しい状況であるとの報告があり、製紙メーカーからポリエチレン残渣の処理費用が高騰し、本当に厳しい状況との説明がありました。学乳パックを乳業会社が引き取りできなくなったことにより、対応について関係者で協議を行ってききましたが、古紙回収業者より東京都台東区の依頼で、きれいに洗うことなどを条件に引き取って製紙メーカーに渡すことになったとの情報提供がありました。

グローバルな環境問題、資源循環への対応が求められる中で紙パック回収に携わるステークホルダー間のコミュニケーションがよりいっそう重要と再認識いたしました。



ステークホルダーの方々

子どもたちの学びの場に。
毎年好評の「出前授業」を
全国の小学校で開催。

全国の小学校で、全国パック連と連携して「牛乳パックリサイクル出前授業」を開催しました。

【広島県 広島市立河内(こうち)小学校】2020年1月15日

広島市西部に位置する河内小学校で、4年生24名とその保護者を対象に出前授業を行いました。写真やクイズを織り交ぜた講義では、日本独特の回収システムにより紙パックがトイレトーパーなどにリサイクルされ、CO₂削減にもつながっていることに児童たちは感心。DVD「牛乳パックン探検隊」の視聴後は「手すきはがきづくり」にも挑戦し、初めて触るパルプの感触や紙すき舟の水の冷たさに驚きながらも懸命に取り組んでいました。保護者からは「家庭でも紙すきをやってみたい」と、材料や道具の入手に関する質問も。児童たちは完成したはがきを見せ合いながら「真っ白な、きれいで丈夫なはがきができるんだね」と感動していました。



全国パック連 平井代表の講義



児童と保護者が一緒に「手すきはがきづくり」に挑戦

出前授業講義内容

- ・講義 「資源と森林管理について」
「牛乳パックは良質な資源」
- ・視聴 DVD「牛乳パックン探検隊」
- ・体験 「手すきはがきづくり(牛乳パックパルプ使用)」
- ・質問コーナー 「リサイクル説明パネル」

【岡山県 新見市立本郷小学校】2020年1月28日

本郷小学校は全校児童が100人ほどの小規模校で、今回は3～5年生の43名が参加。講義の中でクイズに挑戦したり、DVD「牛乳パックン探検隊」を視聴する間、児童は真剣な表情でした。「手すきはがきづくり」では、少し水が冷たく感じられましたが、どの子も上手につくることができ、牛乳パックがはがきとして再生することに驚いたり感心したり。パネルや展示物を使ったおさらいでは児童から次々に質問が飛び出し、日ごろからしっかりと学習している様子がうかがえました。当日は公開授業として保護者・近隣住民の見学やケーブルテレビ局の取材もあり、地域の方々にも紙パックリサイクルの大切さを知っていただくよい機会になりました。



地元のケーブルテレビ局も取材に来ました



オリジナルの手すきはがきを手に記念撮影

牛乳パックリサイクル出前授業

牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール

市民団体や自治体と連携し、
三密に配慮した
出前授業を実施しました。

【神奈川県 川崎市立東小倉小学校】2020年8月19日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度に予定していた出前授業は中止が続いていましたが、今回、川崎市の市民団体(3R推進プロジェクト、グリーンコンシューマーグループかわさき)と川崎市環境局、容環協が連携し、従来とは少し違う形の出前授業を実施しました。

授業は5年生3クラス84名を対象に、感染防止対策としてクラスごとに同じ内容を3回実施しました。

まずは、市民団体より「現在、川崎市の給食の牛乳パックはリサイクルされていないのもったいない」という説明があり、毎日牛乳パックを折りたたんで片付けていた児童からは「えー、なんで?」と驚きの声が上がりました。

続いて、容環協よりパックン探検隊のビデオ上映と、「牛乳パックはどのように作られているか」や、「リサイクルの方法とメリット」を説明。「洗って・開いて・乾かして」が重要なことや、簡単に手開きができることを実演しました。

3番目に、川崎市環境局より、川崎市のごみ処理の現状やごみ減量のためにリサイクルはとても有効であることの説明がありました。



容環協によるリサイクル方法の解説

出前授業講義内容

- ・講義 「3Rについて」
「牛乳パックのリサイクル方法とメリット」
- ・視聴 DVD「牛乳パックン探検隊」
- ・班ごとのグループワーク
テーマ「どうしたらリサイクルできるようになるか」
- ・質疑応答、他校の事例紹介(ビデオ)

その後、4人ずつの班に分かれ、担任の先生から「どうしたら東小倉小の牛乳パックがリサイクルできるか」をテーマに課題や解決策を話し合い、班ごとに発表をしました。

東小倉小の5年生は、「SDGs」について学んでいることもあり、リサイクル問題を解決するために「地球温暖化防止」や「社会の仕組み」に関する意見まで出てきたことにはとても驚きました。

全クラスとも「できるところからリサイクルをやろう」という意見でまとまり、総合の授業で具体的な対策を話し合うことも決まりました。

最後に、横浜市の小学校のリサイクル事例の紹介と質疑応答をおこない、牛乳パックのリサイクル品が高品質であることを知ってもらうために、全員にリサイクルトイレットペーパーを配布して、授業を終了しました。

10月5日に再訪問したところ、5年生の全クラスでリサイクルが始まっていました。洗い方や乾かし方は皆で話し合っただけです。同じ階の4年生も自主的に参加しており、今後、全校に広めたいという声も聞かれました。



班ごとの結果の発表

真崎 李奈子さんの作品
『楽しく学ぼう環境・エコかるた』
が見事最優秀賞に。

記念すべき20回目を迎えた「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2020」には、コロナ禍の逆境においても、全国の小学校より1,670作品の応募がありました。ありがとうございます。いずれも楽しく力作ぞろいの中、厳正な審査の結果、受賞作品7点が選ばれました。おめでとうございます。



最優秀賞『楽しく学ぼう環境・エコかるた』



優秀賞



優秀賞



全国小中学校環境教育研究会賞



全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞



全国牛乳容器環境協議会賞



日本乳業協会賞

最優秀賞は北海道の小学校4年真崎 李奈子さんの作品『楽しく学ぼう環境・エコかるた』でした。一枚一枚すべて環境問題を取り上げた読み札と絵札、大きさや厚さをそろえて実際に使って学べる実用性に富んだ完成度はもちろんのこと、制作過程の根気と丁寧さ、アイデアを生み出す想像力や感性に、審査委員全員が高く評価しました。

例年行ってきました受賞者の表彰式については、残念ながら感染拡大防止のため中止としましたが、審査委員長の東京国立博物館・銭谷館長、実行委員長の容環協・原田会長をはじめ審査委員の方々より受賞者にそれぞれ祝福のビデオレターと賞状・盾・副賞が贈られました。また、「エコプロOnline(エコスタディールームOnline)」の中で、審査風景や受賞作品を紹介する動画を公開しました。

受賞作品は容環協の小学生向けホームページ「牛乳パックン探検隊」で紹介されています。

《受賞作品》

- ◆最優秀賞
『楽しく学ぼう環境・エコかるた』
真崎 李奈子さん(千歳市立末広小学校4年)
- ◆優秀賞 『マイバッグとエプロンセット』
真崎 茜里さん(千歳市立末広小学校2年)
- ◆優秀賞 『リフトアップ↑マスクケース』
西垣 聡恵さん(朝来市立牧田小学校3年)
- ◆全国小中学校環境教育研究会賞
『コロナ退散!!牛乳パックだるま』
中戸川 琉太郎さん(平塚市立富士見小学校4年)
- ◆全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞
『だてまさむねのぶしょうセット』
若山 怜穂さん(島本町立第二小学校3年)
- ◆全国牛乳容器環境協議会賞
『くものす』
西畑 遥香さん(同志社国際学院初等部1年)
- ◆日本乳業協会賞
『牛にゅうパックで大きなひまわりさかせたよ』
日野 成美さん(高山市立江名子小学校3年)



駅に牛乳パックの街が出現しました。

【牛乳パックで作った乗り物の街】

京成電鉄(株)の日暮里駅に、鉄道ジオラマ「牛乳パックで作った乗り物の街」が展示されていました。

牛乳パックトレイン(AE形スカイライナー・3100形)をはじめ観覧車や水族館・商店などの街並みが牛乳パックで再現されています。

制作は日暮里駅の職員のみなさんで、完成までに約40日掛かったそうです。

当初は7月上旬から8月末までの展示予定でしたが、駅を訪れたファミリー層の8~9割が立ち止まり、電車を触ったり、写真を撮ったりと大好評で10月末まで延長して設置してありました。

また、鉄道ジオラマの隣には牛乳パックトレインの型紙が置いてありましたが、多くの家族連れがご家庭で牛乳パックトレインを制作しようと持ち帰られていました。

京成電鉄HPにある「京成きッズベース」内に設けられている牛乳パックトレイン・塗り絵のコンテンツを利用して製作したきっかけは、子供たちが自分で作って楽しめるコンテンツとして検討され、手に触れることができるものとして、平面では塗り絵を、立体では電車の工作を考えましたが、一般のコピー用紙では強度が弱いため、ご家庭で簡単に手に入り紙を貼りつけられる牛乳パックを活用することになりました。この取り組みを知った市川真間駅の駅長

さんが駅を訪れた児童に牛乳パックトレインを配布したところ、大変好評だったことで、その後他駅でも配布や設置が広がりました。

牛乳パックを再利用することは、環境にも優しく、リサイクルや再利用を推奨することに繋がるという思いもあったというお話があり、容環協の活動ももっと広がっていかなくてはと、思いを新たにしました。

紙パック回収
ありがとうキャンペーン
実施しました。

【トイレトペーパーをプレゼント】

紙パックリサイクル意識を高めることを目的に現在、年間約400個配布している回収ボックスは、全国の市町村・企業の回収拠点に設置されています。9月から10月にかけて回収ボックスを設置した拠点を対象にアンケートを実施しました。沢山の応募がありましたが、アンケートをお寄せいただいた応募者のうち165か所に牛乳パック再生品のオリジナルデザイントイレトペーパーを送付いたしました。これを機に、更なるリサイクルの輪が広がっていくことを期待いたします。

新規啓発動画を制作し、
オンライン展示会という新しいフィールド
で紙パックリサイクルの大切さを
アピールしました。

【啓発動画制作とオンラインセミナーへの展開】

コロナ禍で2月以降の啓発イベントがすべて中止になる中、全国パック連と協力して斬新な動画を制作しました。

撮影は都内のスタジオで一日かけて関係者立合いのもとで行われました。マスコミでも話題になっているごみ清掃員・ごみ研究家でお笑い副業と自認するマシンガンの滝沢氏と相方の西堀氏出演による「もったいない!牛乳パックは捨てないで」、「やってみよ〜牛乳パックのリサイクル」の2本です。プロ芸人の掛け合いによる紙パックリサイクルの説明はとてもインパクトがあり、楽しみながら学ぶことができます。テロップや図表も挿入してわかりやすいように工夫しました。

完成直後の11月25日~28日の4日間にわたり、オンライン開催されたエコプロにて初披露し、大変多くの方にアクセスしていただき、幅広い方々への啓発の可能性を感じました。この動画はDVDにプレスしましたのでご希望の方は容環協事務局まで申し込みください。

ごみ袋を用いた
啓発活動に取り組みました。

【三鷹市のごみ袋へ広告掲載】

2019年に引き続き、三鷹市のごみ袋外装の広告に応募し採用されました。4種類あるごみ袋のうちMサイズ(20ℓ)とSサイズ(10ℓ)に容環協オリジナルキャラクターの牛乳パックを用いて「紙パックは捨てずにリサイクル」、「あらって ひらいて わかかして 古紙回収または、スーパーなどの回収ボックスへ」のメッセージを記載いたしました。

また、三鷹市のホームページに容環協ホームページへご案内するバナー広告を11月1日から5か月間掲載していただき、市民の皆様にも容環協とともに紙パックリサイクル活動の内容・基本知識をお知らせする良い機会となりました。

このように幅広く市民の皆様にも紙パックリサイクルの大切さを知っていただくために、新しい啓発手段への取組を進めてまいります。



動画撮影時のようす



啓発動画「もったいない!牛乳パックは捨てないで」



容環協のバナー広告



広告を掲載したMサイズとSサイズのごみ袋



AE形スカイライナー・3100形



応募用紙



オリジナルデザイントイレトペーパー



「洗って、開いて、乾かして」



2019年度の紙パック回収率は
41.4%でした。

紙パックリサイクルに関する情報を関係者や社会に提供するため、1995年から実施している「飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査」が、2020年7月～10月に実施され、2019年度のリサイクル状況が明らかになりました。

2019年度の紙パック全体の回収率は41.4%（前年度比で1.1ポイント減）、使用済み紙パック回収率は32.3%（1.6ポイント減）となりました。

※2019年度実態調査では、紙パックメーカー9社・飲料メーカー245社・市区町村1,737・小学校1,958・スーパーマーケット等1,201・市民団体および福祉施設22・製紙メーカー24社等をアンケート調査対象とし、あわせてヒアリング調査を実施しました。なお、福島原発事故の影響により、一部地域について実施を控えています。
※「産業損紙・古紙」とは、紙パック製造工場や飲料工場で発生した損紙や古紙をいいます。
※「損紙」とは紙パック製造工場や飲料工場で飲料充填前に発生した端材などを、「古紙」とは飲料充填後に発生した紙パックをいいます。また、「使用済み紙パック」とは、家庭、学校、店舗、事業所などで飲み終わった紙パックを指します。

2019年度の紙パック回収率

紙パック回収率
(産業損紙・古紙を含む)

41.4%
(2018年度 42.5%)

=国内紙パック回収量÷紙パック原紙使用量
=89.6千トン / 216.6千トン

使用済み紙パック回収率
(使用された紙パック)

32.3%
(2018年度 33.9%)

=使用済み紙パック回収量÷飲料メーカー紙パック出荷量
=60.4千トン / 187.0千トン

参考 再活用や他の古紙への排出を反映した回収率

使用済み紙パックの中には、廃棄する前にまな板代わりに再活用されるものや、他の古紙として回収され紙パックとして分別されながらも回収量に計上されないものがあります。前者を分母から控除し、後者を分子に加えたときの各回収率は次のようになります。紙パック回収率=43.8%、使用済み紙パック回収率=34.7%

紙パック取引価格は
値下がりました。

紙パック古紙は、紙の繊維が長く強いことなどから、良質の再生紙原料であり、高値で取引されています。

紙パックの取引価格は、自治体ごとに決め方がさまざまなので、標準的な価格を出すのは困難です。ここでは紙パック単独の価格で、資源価格以外の条件がつかない取引を対象に、相手先別に、相手先に来てもらう引渡価格と、相手先へ持ち込んだときの持込価格に分けて、市町村回収(東京特別区の回収を含む)と集団回収の価格を集計しました。

これらの回収の主な取引先は古紙回収業者と古紙原料問屋です。市町村回収、集団回収ともに、平均価格は値下がりにしています。とりわけ市町村回収の古紙回収業者と古紙原料問屋への引渡価格が値下がりにしています。

紙パック古紙の平均取引価格

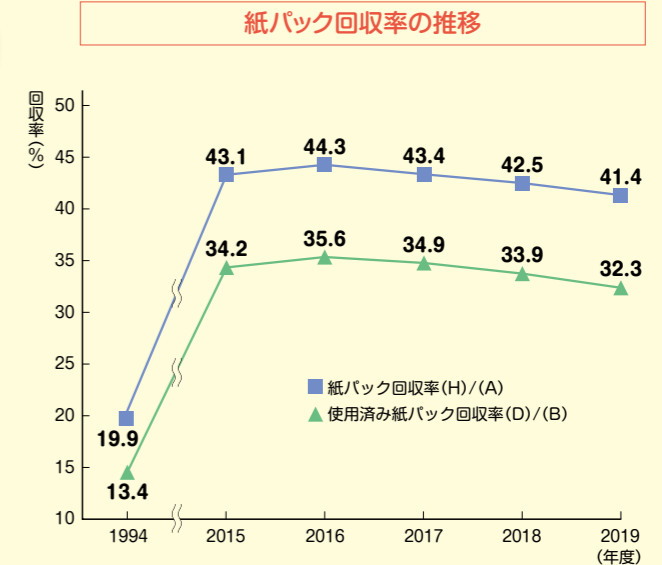
年度		2016	2017	2018	2019	
市町村回収	古紙回収業者	引渡価格	7.8	7.8	7.7	6.6
		持込価格	8.1	8.5	7.8	7.0
	古紙原料問屋	引渡価格	10.3	10.6	9.3	8.3
		持込価格	9.4	9.8	9.2	9.0
	再生紙メーカー	引渡価格	7.6	6.5	5.1	6.4
		持込価格	9.4	10.3	9.2	10.0
平均価格		8.6	8.9	8.3	7.6	
集団回収	取引先不問	引渡価格	5.7	5.5	4.9	4.7
		持込価格	6.7	8.9	6.2	5.3
	平均価格	6.0	6.4	5.3	4.8	

(円/kg)

2019年度の紙パック回収量は
89.6千トンでした。

国内紙パックの回収率は、右の図のように推移しています。回収量と回収率の詳細は下の表のとおりです。

2019年度の国内紙パック回収量は、前年度より5.2千トン(5.4%)減少した89.6千トンでした。紙パックメーカーの損紙など、産業損紙・古紙の回収はほぼ前年度なみでした。使用済み紙パックは、店頭回収が微増したものの、市町村回収と集団回収等が減少し、使用済み全体では前年度から約5千トン減少しました。



主要データの推移(単位:千トン)

区分	1994	2015	2016	2017	2018	2019	対前年度	
飲料用紙パック原紙使用量(A)	216.0	228.3	225.4	222.5	223.0	216.6	-2.9%	
紙パックメーカー産業損紙発生量	16.5	29.7	29.8	28.2	27.3	27.1	-0.7%	
飲料メーカー産業損紙等発生量	-	1.9	1.9	2.1	2.2	2.3	+3.9%	
飲料メーカー飲料用紙パック出荷量(B)	197.9	196.0	192.6	191.0	193.3	187.0	-3.2%	
家庭系(C)	168.7	176.2	169.8	170.7	171.4	165.3	-3.6%	
事業系出荷量	29.2	19.8	22.8	20.3	21.8	21.7	-0.3%	
学校給食	10.7	11.6	11.6	11.8	12.1	11.6	-3.7%	
飲食店等	18.5	8.3	11.2	8.6	9.7	10.1	+3.9%	
使用済み紙パック回収量(D)=(E)+(F)	26.5	67.0	68.5	66.6	65.5	60.4	-7.7%	
家庭系(E)	25.9	56.3	57.8	56.1	54.8	50.9	-7.1%	
店頭回収	13.8	30.4	29.3	28.4	27.9	28.0	+0.5%	
市町村回収	4.3	12.2	11.6	11.6	11.3	10.8	-4.6%	
集団回収等	7.8	13.7	16.9	16.1	15.7	12.2	-22.5%	
市町村登録団体等	7.8	8.8	8.6	8.0	7.6	7.0	-7.8%	
古紙原料問屋による独自回収等	-	4.9	8.3	8.1	8.1	5.1	-36.4%	
事業系(F)	0.6	10.7	10.6	10.5	10.6	9.5	-10.8%	
学校給食	0.6	8.8	8.7	8.7	8.6	7.6	-11.8%	
飲食店等	-	2.0	1.9	1.8	2.0	1.9	-6.8%	
産業損紙・古紙紙パック回収量(G)	16.5	31.3	31.4	30.0	29.3	29.2	-0.4%	
紙パックメーカー	16.5	29.7	29.8	28.2	27.3	27.1	-0.7%	
飲料メーカー	-	1.7	1.6	1.8	2.0	2.1	+4.0%	
国内紙パック回収量(H)=(D)+(G)	43.0	98.3	99.9	96.6	94.7	89.6	-5.4%	
紙パック古紙輸入量	-	19.8	19.8	19.8	19.4	12.9	-33.8%	
紙パック総受入量	43.0	118.1	119.6	116.4	114.2	102.5	-10.3%	
紙パック再資源化量	30.1	95.1	96.4	93.8	86.0	77.0	-10.5%	
回収率	紙パック回収率(H)/(A)	19.9%	43.1%	44.3%	43.4%	42.5%	41.4%	-1.1ポイント
	使用済み紙パック回収率(D)/(B)	13.4%	34.2%	35.6%	34.9%	33.9%	32.3%	-1.6ポイント
	家庭系使用済み紙パック回収率(E)/(C)	15.4%	31.9%	34.1%	32.9%	32.0%	30.8%	-1.2ポイント

※紙パック再資源化量=紙パック総受入量×歩留率。歩留率は、2001年度以降についてはアンケートにより求めています。

※1994年度の産業損紙発生量にはアルミ付き紙パックを含みます。

※100トン未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。また、同じ理由により表中の数値から回収率や前年度比を計算すると合わない箇所があります。

2019年度 紙パックマテリアルフロー



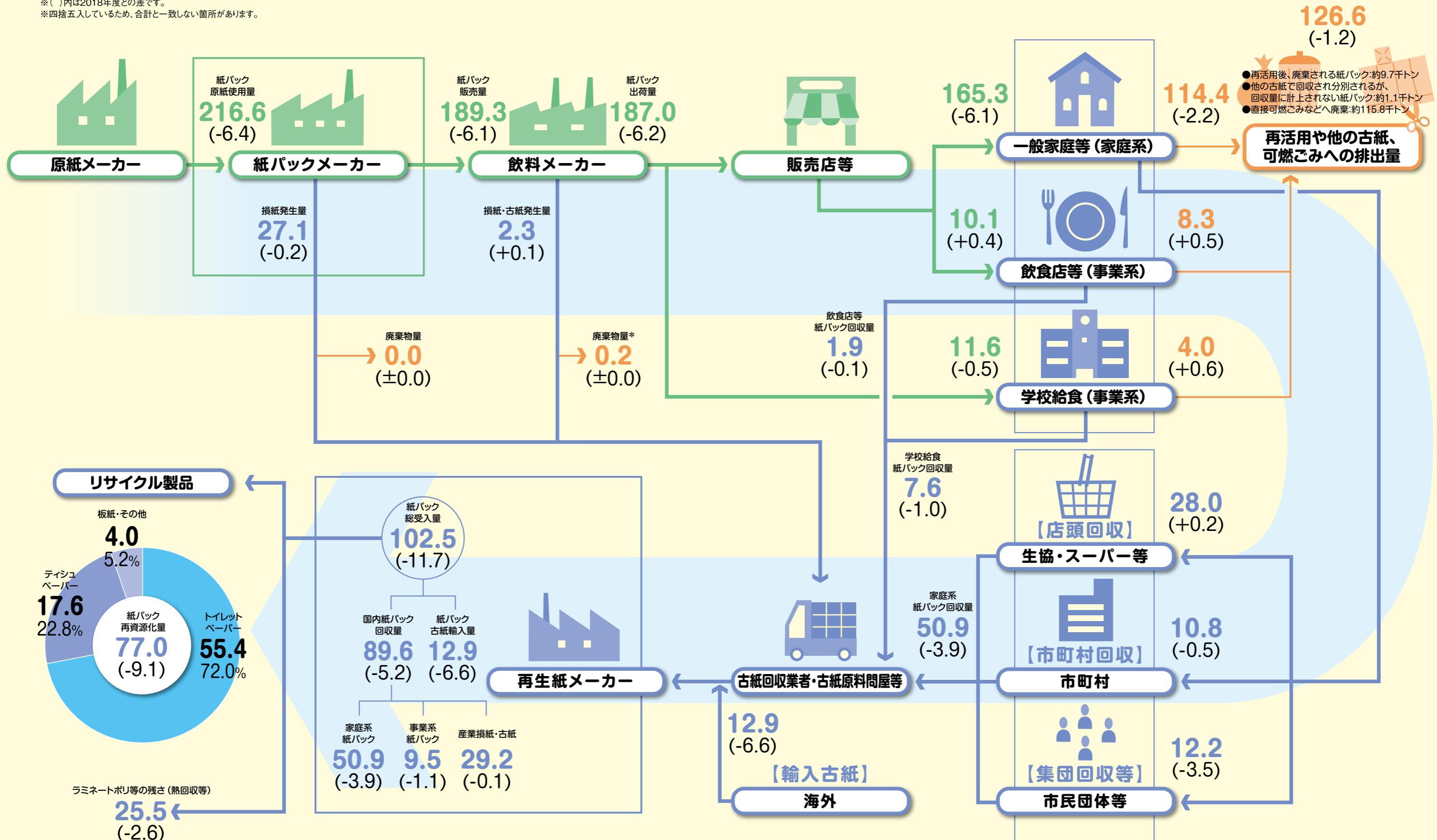
牛乳パックをリサイクルすると

CO₂が削減できます



2019年度の紙パックリサイクルの全体像をマテリアルフローで示したものです。

※単位：千トン
 ※()内は2018年度との差です。
 ※四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。



* 廃棄物量には熱回収されるものも含む。

小売事業者のリサイクル状況

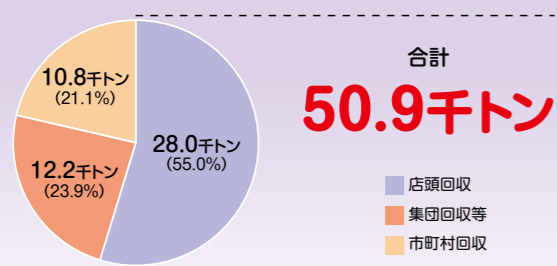
スーパーマーケットなどの店頭回収ボックスで多くの紙パックが回収されています。

家庭からの紙パック回収の約半分を占めているのがスーパーマーケットなどの店頭回収ボックスからの回収です。

店頭回収の調査は、日本生活協同組合連合会からの情報提供、スーパーマーケット各社の公表データ、及び独自アンケート調査で行っています。2019年度におけるこれらの合計値は前年度より0.2千トン増加し、28.0千トンでした。家庭系に占める店頭回収の比率は、他の回収が減少したこともあり、前年度の50.9%から55.0%となりました。

なお、小売形態の変化に合わせて、一部のドラッグストアやコンビニエンスストアについても調査を行っています。

家庭系紙パックの回収拠点別回収量(推計値)



取り組んでいます! リサイクル

パルシステム生活協同組合連合会

(東京都新宿区)

取組事例

パルシステムでは、「限りある資源をムダにしない」という思いから、「配送と回収」という生協ならではの仕組みを生かして、組合員とともに長年にわたり、3R運動、商品改善に取り組んでいます。現在は、牛乳パック、ヨーグルトパック、ABパックを含む紙類7品目、ペットボトル等プラスチック類4品目、リユースびん8種類を回収しています。牛乳パック回収は1993年に開始し、2019年度は組合員家庭から538t回収しました(回収率68.6%)。

回収した牛乳パック、ヨーグルトパック、ABパック、注文用紙は、埼玉県にあるリサイクルセンターで選別・圧縮し、再生工場に送ります。その後、パルシステムオリジナルのトイレトペーパーやティッシュペーパーに生まれ変わり、再び組合員の元に届けられます。この「リ・さいくりんぐ」シリーズ誕生のきっかけは、1990年代初頭に寄せられた「『こんせん72牛乳』の紙パックを再利用したい」という組合員の声でした。一般にはまだ回収率も低く、原料には向かないとされていた紙パックの再生紙でしたが、研究を重ねトイレトペーパー、次いでティッシュペーパーの商品化を実現。組合員の声にこたえて改良を重ねてきました。

使い終わった資源を生協に戻して再生利用すること、環境に配慮された商品を選択することを組合員に呼び掛け、組合員、メーカー、生協が協力してリサイクルを推進しています。



洗って、開いて、乾かして通い箱へ

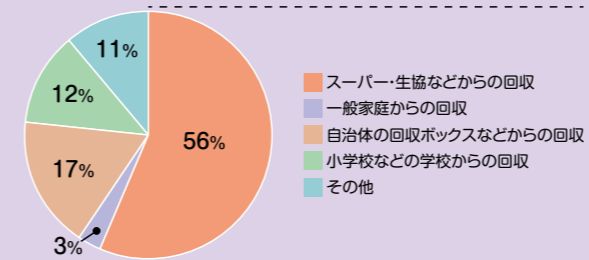
「リ・さいくりんぐ」
トイレトペーパー・ティッシュシリーズ

福祉施設のリサイクル状況

福祉施設の回収先は多岐にわたっています。

福祉施設の回収先は、スーパーマーケットなどの店頭回収ボックスが多いほか、小学校などの学校、自治体の回収ボックス等、一般家庭などと多岐にわたっています。また、多くの施設では、回収・受け入れた紙パックを主に回収業者に引き渡しています。

福祉施設の紙パック回収量に占める回収先割合



取り組んでいます! リサイクル

紙好き交流センター 麦の会

(大阪府交野市)

取組事例

紙好き交流センターは、30年ほど前からパック紙の回収・紙漉きを行ってきました。いろいろな人と出会う中で、精神に障がいを持つ仲間たちと一緒に手漉き紙づくりをして来ました。また、活動していく中で全国にある障がい者作業所の大半が紙漉きをしていることがわかりましたが、設備が整わず、世間の情報も入らない状況の中必死に作業していました。「大変なことだ!!」と思い紙漉きに関わる道具・機械など独自で開発し、全国北海道から奄美・徳之島まで800件ほどの施設をボランティアで指導、アドバイスをに行ってきました。その中でネットワーク・各地域の企業との連携作りなどを行い「目指せ小さな大企業」を合言葉にJASのクリスマスカード10万枚・ユニセフカード32万枚などの大口の仕事もこなせるようになりました。

また、近年紙漉き作業に取り組む特例子会社が出来始め、NTTクラリティ(株)塩山ファクトリーをはじめ技術指導及び機械導入などに携ってきました。紙好き交流センターの今後の課題はただ一つ「販路の拡大」です。仲間が元気になって目標・やりがい・達成感を感じられる年間に何回かの(毎年恒例になるような...)お仕事づくりをと日々活動しています。(一ヶ月はがきで30万枚位は出来上がってきています!!)

パック紙を利用している企業様達でパック紙再利用の商品・カレンダー等々年間通じてのお仕事を願います!!



型枠を使った手漉きの作業



漉いた紙の乾燥工程

市町村回収・集団回収の状況

捨てるなんてもったいない!



9割の自治体が紙パック回収に取り組んでいます。

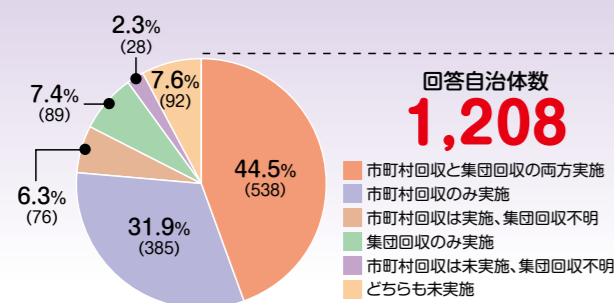
2019年度調査は全国1,741市区町村のうち、福島原発事故の影響が残る4町村を除いた1,737の自治体を対象に実施し、1,208市区町村から回答を得ました。回答人口比率は日本全体の87.6%になります。

調査では、市区町村や一部事務組合などが行う収集を「市町村回収」、住民団体による自主的な回収を「集団回収」としています。

市区町村数で見たとき、市町村回収実施率と、市区町村登録の集団回収実施率は前年度とほぼ同じで、市町村回収が82.7%、集団回収が不明を除いて56.8%^{*}でした。市町村回収と集団回収のいずれかを実施しているのは90.1%で、全国の9割の自治体で紙パックの回収に取り組んでいることになります。

^{*}集団回収実施率=(市町村回収と集団回収を両方実施+集団回収のみ実施) / [回答自治体数-(市町村回収実施・集団回収不明の自治体数+市町村回収未実施・集団回収不明の自治体数)]=(538+89) / (1208-(76+28))=56.8%

市町村回収と集団回収の実施率



市町村回収や集団回収で17.8千トンの紙パックが回収されました。

市町村回収量と集団回収量は、都市類型別に「一般市」「政令指定都市」「東京特別区」「町村」の4つに分けて推計しています。2019年度は市町村回収が10.8千トン、集団回収が7.0千トンで、合計では17.8千トンでした。

1人あたりの回収量(原単位)をみると、市町村回収は、町村や一般市が大きく、政令指定都市や東京特別区では小さくなっています。また、集団回収は、東京特別区が小さくなっています。両方を合計した回収原単位は、一般市と町村で大きく、政令指定都市や東京特別区などの大都市で小さくなっています。ただし、政令指定都市や東京特別区は、都市や区によって様々です。

都市規模や地域によって異なる紙パック回収の実情を踏まえ、紙パック回収量を増やすための検討を進めることが課題といえるでしょう。

都市類型別の市町村回収・集団回収推計回収量

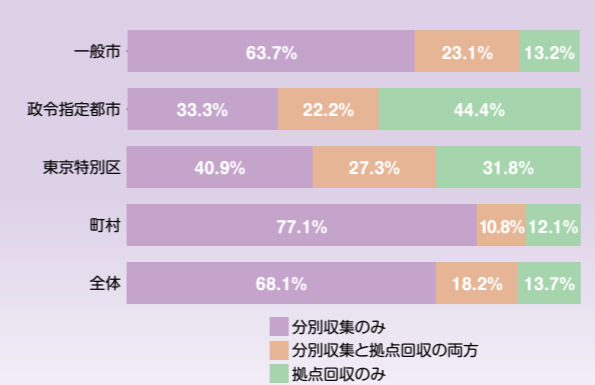
	全体	一般市	政令指定都市	東京特別区	町村
市町村回収					
推計量(千トン)	10.8	7.8	1.0	0.6	1.2
都市類型別回収推計量比率	100%	73%	10%	6%	12%
一人あたりの回収量(g)	84	99	38	66	114
集団回収					
推計量(千トン)	7.0	4.8	1.5	0.2	0.5
都市類型別回収推計量比率	100%	69%	21%	2%	8%
一人あたりの回収量(g)	55	61	54	18	50
合計					
推計量(千トン)	17.8	12.7	2.5	0.8	1.8
都市類型別回収推計量比率	100%	71%	14%	5%	10%
一人あたりの回収量(g)	140	159	92	85	164
都市類型別人口(百万人)	127	80	27	9	11

紙パックの市町村回収は分別収集方式や拠点回収方式で実施されています。

市町村回収の紙パック回収方式には、分別収集方式と拠点回収方式があります。分別収集とは各戸やステーションからの回収で、拠点回収は公民館の回収ボックスなどからの回収です。

紙パックを回収している市区町村を都市類型別にみると、一般市と町村では分別収集が多く、一般市の63.7%、町村の77.1%は「分別収集のみ」となっています。政令指定都市と東京特別区は拠点回収が多く、特に政令指定都市では「拠点回収のみ」が44.4%となっています。

都市類型別・回収方式の比率



取り組んでいます! リサイクル

千葉県柏市

取組事例

柏市は、千葉県北西部に位置し、多様で豊かな自然環境を有しています。また、近年の柏の葉キャンパス駅周辺の開発により、緩やかな人口増加傾向が続いています。

2019年度紙パックリサイクル物量は、85.3トン(2017年度比109.4%)で市町村回収が主となっています。

紙パックリサイクル啓発活動は、リサイクルプラザリボン館で毎年秋頃に開催されるリサイクルフェアが中心となっており、循環型社会の形成に向けた市民への啓発活動の一環として、フリーマーケットや牛乳パック工作、紙パックリサイクル啓発展示(牛乳パックとトイレトペーパーとの交換等)などを通じて3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する意識高揚を図っています。

自治体によって異なる分別ルールに対応できるように2019年10月より転入者に対してごみ分別早見表や容プラ分別チラシ等のごみ分別啓発品の配付を開始し、また、2020年10月より人生100年時代を見据え、自分ごみを集積所に出すことが困難な要介護認定者や身体に障がいのある方を支援する、ごみの戸別収集制度「ごみ出し困難者支援収集」を開始しました。

今後もリサイクルフェア等の啓発事業を中心に、一人でも多くの市民の間で「3Rの輪」を広げていこうと活動してまいります。



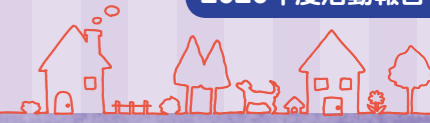
リサイクルプラザリボン館の紙パックリサイクル啓発展示コーナー



容環協のブース(2019年10月出展)

学校のリサイクル状況

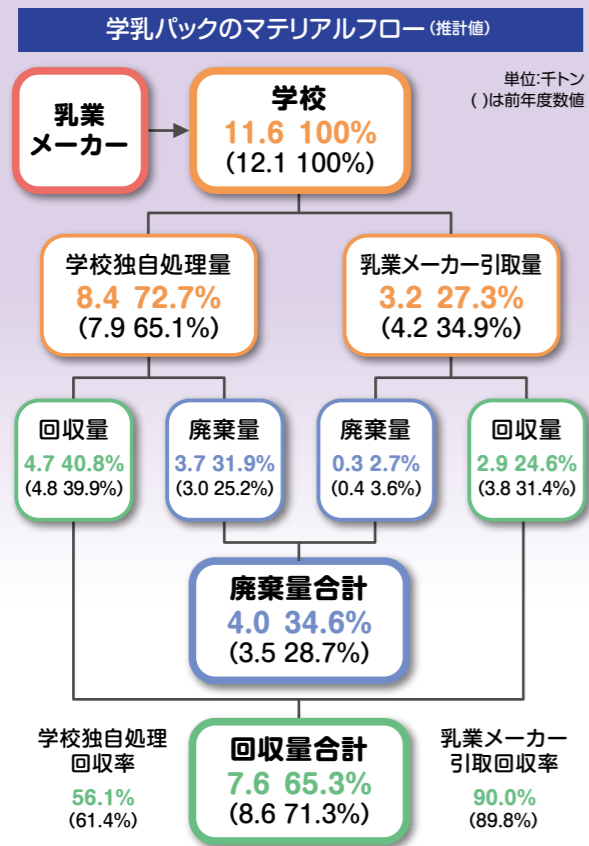
製紙メーカーのリサイクル状況



学校給食用牛乳の紙パックのリサイクル率は低下しています。

2019年度に学校給食用牛乳として供給された紙パックの総量は前年度より0.5千トン少ない11.6千トンでした。そのうちリサイクルのために回収された紙パックは7.6千トン、回収率は65.3%で、回収量と回収率はともに前年度を下回っています。

乳業メーカー引取から学校独自処理への移行が進んでいます。学校独自処理による回収をいかに増やしていくかが今後の課題と考えられます。



※学校独自処理とは、乳業メーカーが引取るのではなく、学校が直接自治体や古紙回収業者などに引き渡すことを指します。
※四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

取り組んでいます! リサイクル 東京都 墨田区立中和小学校

取組事例 江戸時代からの基盤目状街区に立地する墨田区立中和小学校は2019年に創立145周年を迎えた墨田区で最も歴史ある小学校です。この学校では、給食で飲み終わった牛乳パックは折り畳んでポリ袋に入れたものを乳業会社が引き取っていますが、将来、児童が洗って開いて乾かした紙パックを古紙回収業者が引き取る方式への転換を目指して全校児童301名を対象に2020年1月29日に出前授業を行いました。講義では「洗って・開いて・乾かして」は日本だけの独自のリサイクルシステムであること、さらに紙パックから得られるパルプは良質で、トイレトペーパーなどの家庭紙の原料となることなどを学びました。

引き続き全国パック連と容環協スタッフの指導のもとに全員が屋根型パックの手開き方法を実践し、合わせ目に沿ってきれいに開かずにはやぶれても構わないことも学びました。

最後に校長先生から「自分たちの地球を守るために今できることを行いましょう。墨田区の小・中学校の全てが取り組みます。家でも練習をしてください。」との説明を受けて児童は皆、決意を新たにしていました。今回の授業を通じて資源の有効利用としての紙パックリサイクルに理解が広まるとともに学乳パックの回収率向上も期待され、活動の大切さを実感しました。

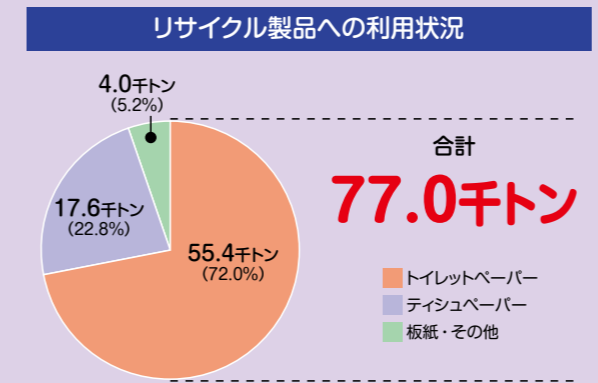


紙パックリサイクルについて熱心に学習 全員が手開きを実践習得

回収された紙パックは良質なパルプ繊維として再生されています。

2019年度の国内紙パック回収量89.6千トンと紙パック古紙輸入量をあわせた総受入量は102.5千トンでした。ラミネートポリやその他の不純物を取り除き、77.0千トンのトイレトペーパーやティシュペーパーなどの家庭紙に再資源化されました。

紙パックは良質なパルプ繊維として、これらの製品の貴重な原料になっています。



取り組んでいます! リサイクル 株式会社 日誠産業

(本社・工場:徳島県阿南市)

取組事例 日誠産業は紙パック古紙を主原料として、主に紙の原料となる古紙パルプを年間2万トン以上生産しています。

当社古紙パルプはティシュペーパー等の日用品、ノート等の文具用品、卵や果実等の緩衝材モールド、建物の内外装材等、幅広い素材として国内外で利用されています。その他Tシャツやタオル等の再生繊維(レーヨン)製品にも利用されています。

また排出された古紙を再生、再び商品として利用する循環型リサイクルの提案を行っています。イベント等では、一般の消費者を巻き込んだ参加型、循環型のリサイクル活動を展開。消費者が持参した紙パックをトイレトペーパーと交換、再商品化したものを利用してもらうなど、イベントの参加を通して活動の意義を深め、活発な活動にしています。

当社グループでは古紙パルプ商品の企画・開発・販売も行い、ストーリーのある商品化を行うことで、持続可能な社会づくりを実現しています。近年は当社活動を社外でも評価いただき、「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞」や環境省「循環型社会形成推進功労者環境大臣賞」、昨年度は「とくしまエシカルアワード」、環境省「グッドライフアワード特別賞エシカル賞」、ACAP「消費者志向活動章」の表彰をいただきました。今後も紙パックリサイクルを通じた持続可能な社会構築に向けて、取り組んでいきます。



リサイクル啓発イベント FSC認証を取得



そだてる

管理された健康な森は、大気中の二酸化炭素をよく取り込み、酸素を排出します。



つかう

木はムダなく使われます。

伐採された木は、主として建材や家具として利用されます。間伐材の細いものや建材の端材、枝をチップにして、紙の原料として利用します。針葉樹は繊維が長く、紙パックの加工や強度保持に適しています。



端材や間伐材

チップ

製紙メーカー



建材の集積場所

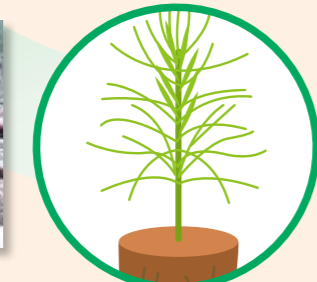
森林のライフサイクル

50~100年のサイクル

紙パックの原料は枯渇しません。

紙パックの原料となるのは、北米や北欧の主に針葉樹です。これらの森林は、森林認証などで管理され、伐採、幼苗の植え付け、育成が計画的に行われています。北米の針葉樹は約50~80年、北欧では約70~100年、間伐などをして管理、育成されます。

うえる



母木から種子を採り、幼苗生育場で大量に育て、伐採した土地に計画的に植え付けていきます。



建材や家具材

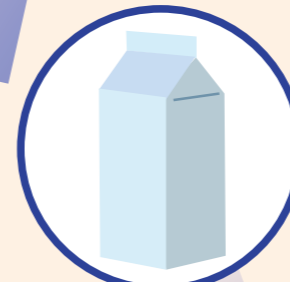
リサイクル製品に



飲み終わった紙パックは上質な資源。リサイクル製品に生まれ変わります。

再生紙メーカー

ラミネート部分を取り除き、原紙部分を再溶解します。この時インクの残りなどを除いて、きれいなパルプに作り上げて、トイレトペーパーなどのリサイクル製品にします。



紙パック

紙パックとは、牛乳容器、乳飲料容器、ジュースなどの容器で内側にアルミのないものをいいます。1000mlの他に500ml、200mlなどの容器も集められています。

紙パックは環境負荷の少ない容器*

1000mlの紙パック1枚当たりのCO₂排出量は、32.4gと環境負荷の少ない容器です。

1000mlの紙パック1枚のリサイクルは、CO₂排出量23.4gの削減につながります。

*出典は環境省請負調査、(財)政策科学研究所「平成16年度容器包装ライフ・サイクル・アセスメントに係る調査事業 報告書」

回収業者・古紙問屋

紙パックを選別して、再生紙メーカーに輸送します。

紙パックのリサイクル

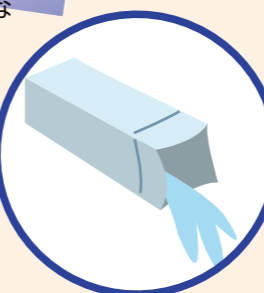
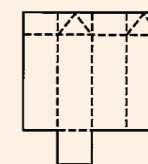


回収

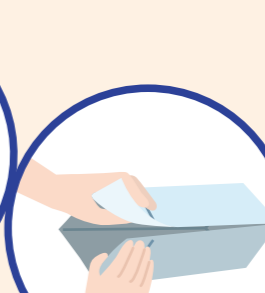
回収方法には、スーパーなどの店頭回収、市町村回収、市民団体などによる集団回収や学校などでの回収があります。



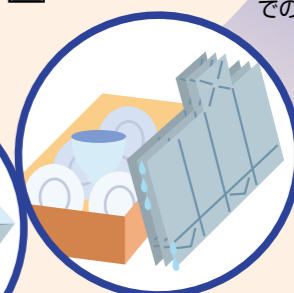
- ① 洗って
- ② 開いて
- ③ 乾かして



洗って



開いて



乾かして



牛乳パックとその他の紙は混ぜないで!

リサイクルされる工場(工程)が違います

全国牛乳容器環境協議会の概要



あゆみ

●全国牛乳容器環境協議会のあゆみ ■全国牛乳パックの再利用を考える連絡会のあゆみ ★連携強化活動

年度	あゆみ	関連法規の動き
1984年	■ものたいてつさを子どもたちに伝えたいと山梨県の主婦グループが牛乳パックの再利用運動を開始	
1985年	■「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」発足(1985年) ●「全国牛乳容器環境協議会」設立(1992年) ■「牛乳パック再利用マーク」決定(1992年)	
1993年	●林野庁主催「森林の市」に出展(1993年より2008年まで毎年出展)	●環境基本法制定(1993年)
1995年	●「飲料用紙容器(紙パック)リサイクルの現状と動向に関する基本調査」開始	●容器包装リサイクル法制定
1996年	●「飲料用紙容器リサイクル協議会」発足	
1997年	■牛乳パック回収システム全国事例調査の実施	●容器包装リサイクル法施行
1998年	●学校給食用牛乳パックのリサイクル推進モデル事業を開始(北海道) ■学校給食用牛乳パック等の回収・再商品化システム構築のための実験プロジェクトの実施(福岡、兵庫) ■飲料用紙容器の回収促進のための懇親会の開催(開催場所*1)	
1999年	★紙パックリサイクル促進地域会議の開催(継続開催*1)	
2000年	●紙パック識別マーク自主制定 ●飲料用紙パックのリサイクル促進意見交換会開始(継続開催)	●容器包装リサイクル法完全施行 ●循環型社会形成推進基本法制定 ●資源有効利用促進法制定
2001年	★牛乳パック回収拠点拡大運動の展開(回収ボックスを各地域へ提供)	●グリーン購入法等制定
2002年	●全国牛乳容器環境協議会10周年記念シンポジウム開催 ★牛乳パック回収拠点10,000か所拡大活動開始 ●紙パックのライフサイクルアセスメント(LCA)調査開始(継続実施)	
2003年	★北米における紙パックLCA調査実施	
2004年	●環境キャンペーン開始(毎年の環境月間、3R月間に実施) ★紙パックリサイクル講習会の開催(継続実施*2) ●国内最大級の環境関連展示会「エコプロダクツ2004」出展(毎年継続出展)	●容器包装リサイクル法見直し審議開始
2005年	●紙パックの回収率目標2010年度50%以上を設定 ●容器包装の3R推進のための自主行動計画を公表(飲料用紙容器リサイクル協議会) ★子ども向け環境教育用ホームページ「牛乳パックン探検隊」開設 ★北米における紙パックLCA調査実施	
2006年	■全国パック連20周年記念集会	●容器包装リサイクル法改正・立法化
2007年	●「プラン2010飲料用紙パックリサイクル行動計画-回収率50%に向けて-」策定・発刊 ●環境月間の主要行事「エコライフ・フェア2007」に出展(毎年継続出展) ■「環の縁結びフォーラム-全国パック連絡交流会-」協賛(毎年継続開催) ★北米における紙パックLCA調査 ★牛乳パックリサイクル出前授業開始(継続実施*3) ★牛乳パック回収拠点拡大運動のさらなる展開(20,000か所目標)	
2008年	●洞爺湖サミット記念環境総合展2008出展 ★飲料用紙容器へのCTMP採用問題対応会議	●改正容器包装リサイクル法完全施行
2009年	★書籍「紙パック宣言」出版	
2010年	★DVD「牛乳パックン探検隊」制作 ★第1回「日韓乳加工産業環境経営フォーラム」(韓国ソウル開催)	

年度	あゆみ	関連法規の動き
2011年	★冊子「紙パックリサイクルほんとはなし」発行 ★紙パックリサイクル韓国出前授業指導者講習会開催(韓国) ★回収ボックス配布20,000か所達成 ●「プラン2015飲料用紙パックリサイクル行動計画」策定・発刊 ●容器包装の3R推進のための第二次自主行動計画を公表(飲料用紙容器リサイクル協議会) ★第2回「日韓乳加工産業環境経営フォーラム」(大阪開催) ■「牛乳パック再利用マーク普及促進協議会」設立	
2012年	●容環協運営新組織発足(総務・支部組織・広報・イベント委員会) ★第3回「日韓乳加工産業環境経営フォーラム」(韓国慶州開催) ★北米における紙パックLCA調査実施	
2013年	●容環協創立20周年記念シンポジウム開催 ★冊子「「もったいない」ものがたり」発行	●改正容器包装リサイクル法見直し審議開始
2014年	●紙パック組成分析調査(松戸市)	
2015年	●紙パック組成分析調査(町田市) ★冊子「紙パックリサイクル全国20事例集第4集」発行 ★「紙パックリサイクルに関わる製紙メーカー意見交換会」開催(毎年継続開催)	
2016年	●「プラン2020飲料用紙パックリサイクル行動計画」策定・発刊 ●容器包装3Rのための第三次自主行動計画を公表(飲料用紙容器リサイクル協議会) ★北米における紙パックLCA調査・紙パックリサイクル実態視察 ★リーフレット「ひと目でわかる 紙パックリサイクルほんとはなし」発行	●改正容器包装リサイクル法見直し審議終了
2017年	●都営バス広告を実施("牛乳パックン"バス) ★冊子「大人も子どもも 牛乳パックで作る小物リサイクル工作室」発行	
2018年	●燃やせるごみ専用袋の外装に広告掲載(町田市) ●AR(拡張現実)を利用した啓発実施	
2019年	★欧州視察(サーキュラーエコノミーとEUにおける紙パックリサイクルの実態調査) ●容環協新規イベントへの出展(川崎市エコ暮らしこフェア、八千代どーんと祭) ●紙パック組成分析調査(富士市) ●燃やせるごみ専用袋の外装に広告掲載(三鷹市) ★冊子「学校給食用牛乳パックリサイクルの手引き」発行 ■「環の縁結びフォーラム-紙パックリサイクル循環システムの現状と今後-」 ■商業施設でワークショップ開催「ライフハブノ里店(東大阪市)」	
2020年	★マシンガンズ 滝沢秀一氏(環境省サステナビリティ広報大使)による啓発動画作成 ●エコプロ(エコスタディールーム)Online、エコライフ・フェア2020 Onlineに出展 ★地域会議(in千葉)をオンライン併用で開催予定	

*1 紙パックリサイクル促進地域会議の開催地(1998年~2020年)

北海道、函館、青森、岩手、宮城、福島、山形、新潟、長野、群馬、茨城、さいたま、千葉、茨城、東京都(北部)(東部)(23区)、昭島、神奈川、横浜、静岡、岐阜、石川、福井、三重、桑名、愛知、滋賀、大阪(京阪神)、京都、兵庫(神戸・阪神)、明石、島根、岡山、広島、徳島、愛媛、高知、福岡、北九州、春日、大分、佐賀、熊本、沖縄

*2 紙パックリサイクル講習会の開催地(2004年~2019年)

旭川市、札幌市、筑西市、さいたま市、朝霞市、富士見市、中央区、渋谷区、品川区、江東区、中野区、北区、西東京市、横浜市、厚木市、相模原市、(千葉県)横芝光町、大月市、甲府市、(静岡県)清水町、春日井市、日進市、大阪市、西宮市、松山市、(徳島県)板野町、高知市、久留米市、別府市、那覇市

*3 牛乳パックリサイクル出前授業の実施校(2007年~2020年)

青森市立泉川小、仙台市立中山小、同 松陵小、須賀川市立阿武隈小、水戸市立赤塚小、筑西市立上野小、同 伊讚小、茂木町立茂木小、芳賀町立芳賀南小、野木町立友沼小、太田市立中央小、川口市立戸塚南小、鴻巣市立赤見台第一小、越谷市立大袋東小、三郷市立丹後小、市原市立ちはら台桜小、野田市立二川小、墨田区立中和小、大田区立都南小、渋谷区立加計塚小、江戸川区立篠崎第二小、西東京市立向台小、町田市立小山小、青梅市立今井小、多摩市立諏訪小、横浜市立荏子田小、同 綱島小、同 日枝小、川崎市立東小倉小、平塚市立岡崎小、大和市学校教育研究会、大月市学童クラブなのはな、南アルプス市立白根田小、北杜市立武川小、駒ヶ根市立赤穂小、富山市立新庄小、金沢市立泉野小、垂井町立若手小、神戸市立神戸小、静岡市立東源台小、浜松市立浜小、岡崎市立山中小、尾張旭市立本地原小、日進市立東小、同 西小、弥富市立白鳥小、南伊勢町立南島東小、名張市立美旗小、大阪市立弁天小、同 鶴町小、同 長吉南小、堺市立熊野小、岸和田市立城東小、貝塚市立中央小、島本町立第二小、尼崎市立若葉小、西宮市立高木小、王寺町立王寺北小、新見市立本郷小、広島市立井口台小、同 牛田新町小、同 仁保小、同 温品小、同 大町小、同 八幡東小、同 河内小、福山市立引野小、松江市立鹿島東小、三豊市立松崎小、同 大見小、高知市立鴨田小、吉野川市立上浦小、北九州市立天籟寺小、同 星ヶ丘小、同 折尾東小、佐賀市立若楠小、吉野ヶ里町立東育振小



容環協の発行物

会員一覧

紙パックの特性やリサイクルを
わかりやすく学べるDVDや
リーフレットを提供しています。

DVD「牛乳パックン探検隊」

容環協の小学生向けホームページ「牛乳パックン探検隊」の内容の詳細版として、子どもたちが環境を考え、自ら行動することの大切さを学ぶ教材となるDVD「牛乳パックン探検隊」を準備しています。お申し込みいただいた学校・団体には無料配布しています。



DVD「牛乳パックン探検隊」

「大人も子どもも 牛乳パックで作る小物リサイクル工作室」

NPO法人「ゆいまある」のご指導をいただき、美しい小物製作のパンフレットを作成しました。紙パックの端切れをリサイクルするポイントも書かれています。工作イベントなどでぜひご活用ください。



「大人も子どもも 牛乳パックで作る小物リサイクル工作室」

「紙パックリサイクルほんとはなし」

全国パック連と協力して新しい紙パックリサイクル活動事例紹介と端切れのリサイクル推進を盛り込み改訂しました。子ども向けに牛乳パックのイラストで親しみやすく編集した「「もったいない」ものがたり」もご活用ください。



「紙パックリサイクルほんとはなし」



「「もったいない」ものがたり」

「学校給食用牛乳パックリサイクルの手引き」

飲み終わった牛乳パックの開き方が分かり易く描かれています。3つの学校の実例が紹介されていて、パックを洗う・開く・乾かすときのヒントも載っています。ホームページからダウンロードして簡単にご利用できます。



「学校給食用牛乳パックリサイクルの手引き」

「牛乳パックでつくって遊ぶリサイクル工作室」

手すきはがきのすき方や牛乳パックを使った工作など、リサイクルのアイデアがいっぱいです。講習会やエコライフ・フェアなどのイベントで配布しています。



「牛乳パックでつくって遊ぶリサイクル工作室」

書籍「紙パック宣言」

紙パックの特性やリサイクル活動などを詳しく解説した書籍で、リサイクルの意識を深めながら地球の未来へ向けた提言となるような内容となっています。著者に(株)エコイプスの猪瀬代表、全国パック連の平井代表のほか、容環協からも7名参画しました。



書籍「紙パック宣言」
日本評論社

「紙パックリサイクル全国20事例集」第4集

紙パックの分別回収には地域の方々の理解や工夫が必要です。この事例集は全国の市民団体、自治体、事業者などの各分野での実践事例を紹介してリサイクルのさまざまなシーンでの課題解決のヒントとなることを目的として編集しています。



第4集となった
「紙パックリサイクル全国20事例集」

団体会員(3団体)

一般社団法人 日本乳業協会
一般社団法人 Jミルク
全国乳業協同組合連合会

飲料用紙容器メーカー(7社)

日本製紙(株)
日本テトラパック(株)
石塚王子ペーパーパッケージング(株)
大日本印刷(株)
凸版印刷(株)
北越パッケージ(株)
東京製紙(株)

乳業メーカー(117社)

【北海道】
よつ葉乳業(株)
サツラク農業協同組合
北海道保証牛乳(株)
新札幌乳業(株)
くみあい乳業(株)
北海道乳業(株)
(株)函館酪農公社
(株)北海道酪農公社
(株)町村農場
倉島乳業(株)
(株)豊富牛乳公社

【青森県】
萩原乳業(株)

【岩手県】
不二家乳業(株)

【宮城県】
東北森永乳業(株)
山田乳業(株)
みちのくミルク(株)
東北グリコ乳業(株)

【山形県】
(有)後藤牧場
奥羽乳業協同組合

【福島県】
酪王乳業(株)
東北協同乳業(株)
会津中央乳業(株)
松永牛乳(株)

【茨城県】
茨城乳業(株)
トモエ乳業(株)

いばらく乳業(株)
関東乳業(株)

【栃木県】
針谷乳業(株)
栃木明治牛乳(株)
栃木乳業(株)
ホウライ(株)千本松牧場本部

【群馬県】
榛名酪農協同組合連合会
東毛酪農協同組合
群馬牛乳協業組合

【埼玉県】
森乳業(株)
西武酪農乳業(株)
埼玉酪農協同組合
大沢牛乳(株)

【千葉県】
古谷乳業(株)
千葉北部酪農協同組合
千葉酪農協同組合

【東京都】
雪印メグミルク(株)
(株)明治
森永乳業(株)
協同乳業(株)
小岩井乳業(株)
コーシン乳業(株)

【神奈川県】
タカナン乳業(株)
横浜森永乳業(株)
近藤乳業(株)
足柄乳業(株)
(株)協同牛乳

【長野県】
八ヶ岳乳業(株)
(有)松田乳業

【新潟県】
新潟県農協乳業(株)
原田乳業(株)
(株)塚田牛乳
(株)佐渡乳業

【富山県】
となみ乳業協業組合
黒東乳業

【石川県】
アイ・ミルク北陸(株)

【岐阜県】
飛騨酪農協同組合
(有)牧成舎

関牛乳(株)
美濃酪農協同組合連合会

【静岡県】

いなさ酪農協同組合
函南東部酪農協同組合
東海明治(株)
朝霧乳業(株)

【愛知県】

中央製乳(株)
常滑牛乳(資)

【三重県】

大内山酪農協同組合

【京都府】

平林乳業(株)
京都酪農協同酪農センター

【千葉県】

泉南乳業(株)
日本酪農協同(株)
ビタミン乳業(株)
(株)いかるが牛乳
江崎グリコ(株)

【兵庫県】

丹波乳業(株)
淡路島牛乳(株)

【鳥取県】

大山乳業協同組合

【島根県】

木次乳業(有)

【岡山県】

オハヨー乳業(株)
梶原乳業(株)
蒜山酪農協同組合
岡山西農協同組合

【広島県】

山陽乳業(株)
広島森永乳業(株)
広島協同乳業(株)
チチヤス(株)

【山口県】

やまぐち酪農協同組合
防府酪農協同組合
西本牧場

【香川県】

四国明治(株)

【愛媛県】

四国乳業(株)

【高知県】

ひまわり乳業(株)

【福岡県】

ニシラク乳業(株)
オーム乳業(株)
永利牛乳(株)

【長崎県】

島原地方酪農協同組合

【熊本県】

熊本県酪農協同組合連合会
熊本森永乳業(株)
球磨酪農協同組合
阿蘇酪農協同組合
(資)堀田功乳舎

【大分県】

九州乳業(株)
下郷酪農協同組合
(有)古山乳業

【宮崎県】

南日本酪農協同(株)

【鹿児島県】

鹿児島酪農協同(株)

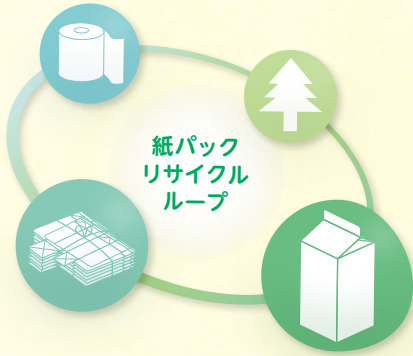
【沖縄県】

沖縄明治乳業(株)
沖縄森永乳業(株)
(株)マリヤ乳業
(株)八重山ゲンキ乳業
元気生活(株)
(株)富平乳業

賛助会員(13社)

王子エコマテリアル(株)
西日本衛材(株)
(株)日誠産業
日本製紙クレシア(株)
大和板紙(株)
コアレックス信栄(株)
丸富製紙(株)
(株)山田洋治商店
(株)クレスコ
ウェストロックアジア(株)
マスコー製紙(株)
ストウラ エンソ ジャパン(株)
日本ダイナウェーブパッケージング

(2020年11月末現在)

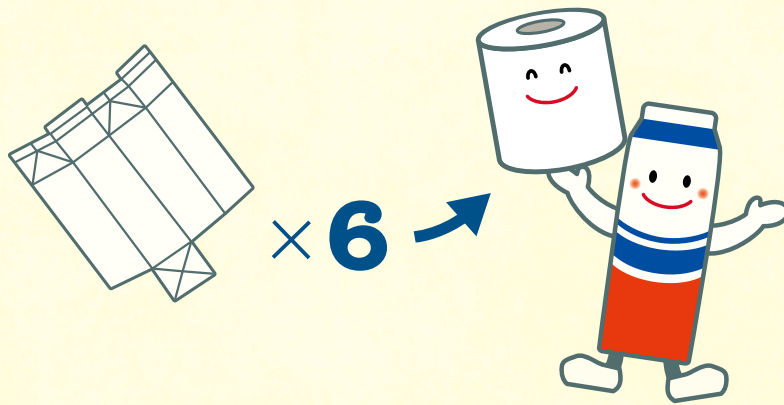


乳業メーカーと紙容器メーカーが協力し、牛乳などの紙容器にかかわる環境保全に取り組んでいます。

全国牛乳容器環境協議会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 (乳業会館)
TEL 03-3264-3903 FAX 03-3261-9176
<http://www.yokankyo.jp>

飲み終わったら 洗って 開いて 乾かして
リサイクルありがとうございます



1000mlの紙パック **6** 枚でトイレットペーパーが **1** つ



紙パックを回収している団体のみなさまへ

学校・自治体・公共施設、商店、福祉施設など、回収ボックス設置のお願いに回ると同時に、定期的に回収できるシステムづくりをお願いいたします。

お問い合わせ先 | 全国牛乳容器環境協議会
email: info@yokankyo.jp

回収先がわからない時は、地元自治体・行政窓口にお問い合わせください。